

光山だより

11月号
発行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部会

<http://www.ozo.jp>

力作ぞろいの今年の芸術祭

菊の香り高い季節を迎えよう

去る11月一日〜二日、「町民芸術祭」が、神戸市立フルーツ・フラワーパークを会場に「太陽と緑

人情豊かなふれあいのまちおおぞう」をテーマに開催されました。

てくれました。

昭和56年に第1回目が開催されて以来、毎年テーマを掲げて大沢の文化を内外に発信してきましたが、大沢の誇れるすばらしい文化を次の世代を担う子供たちに引き継いでいきたいものです。

丹精を込めて育てられた香り高い菊、はじめて見る 竹の花器の生け花（生け花部会）、グループ

による労作の「布ぞうり」（簾地区ふれあい喫茶）、農村地域独特の見事なわら細工など見たえのある多彩な作品で広い会場が賑わ

いました。練習を積み重ねた演技の披露も芸術祭を盛り上げました。

来年は、30回目の節目にふさわしい「大沢ならではの魅力」を楽しんでもらえる芸術祭にしたいと思えます。開催に当たってご高配を賜りましたフルーツ・フラワーパーク様をはじめ、ご尽力をいただきました関係者各位に厚くお礼を申し上げます。（乗井幹雄）

神戸市長選挙結果			
平成21年10月25日執行			
	有権者数	投票者数	投票率
全市	1231630	388119	31.51
北区	182308	55482	30.43
大沢町	981	546	55.66



大沢小学校

収穫しました!

9月18日に、今年のお米の収穫を終えました。その後、地域の坂井先生にお世話になり、稲こきやもみすりを体験させて頂きました。抱えきれないほどのお米を手にし、どの顔も満足感で一杯でした。

代かきから脱穀までの一連の作業を、昔の人は全て手で行っていたことを知った子どもたちは、「稲作がどれだけ大変なことなのかわかった。」「米作りは大切なことだとわかった。」「お米は大事にしないといけないと思った。」と、それぞれの場面で改めて感じたよう

です。貴重な体験をありがとうございました。

幼稚園だより

平成22年度は、年長1名と年少5名の新入園児を迎え、大沢幼稚園は園児数11名になります。

園児は、いろいろな活動で地域の皆様にご支援ご協力をいただ

旅行に行ってきました

旅行を歌にしました

お買い物 何をかうかを 迷うけど やはり初めは 家族のみやげ
 プレネーは とても楽しい思い出 一つになつても 忘れるもんか
 (池上 浩禎)
 イルカ島 風がはげしく 凍えそう イルカ見るより 体を守る
 (池鍋 実咲)
 朝日館 ご飯多くて 食べきれず みんなお腹が 破裂しそうだ
 (大家 夕佳)
 セイウチに よだれまじりのキスをされ ぐさい思い出 心に残る
 (小西 瑞歩)
 夫婦岩 真冬のような 雨の中 とても恋しい あつたかこたつ
 (末武 泰地)
 楽しみだ 夜のお散歩 何買おう いろいろあつて 迷いいっぱい
 (田尻 祥子)
 船に乗り 船酔いになり ダウンするカモメにえさやり すぐに回復
 (鳩田 真)
 プレネーで 体回され よっぱらい 二度目は無理よプレネーだけは
 (東本 進太郎)
 (前中 悠希)

台風接近の影響で、一ヶ月延期になっていた修学旅行に11月16・17日に行ってきました。一日目は晴天でしたが、二日目は雨と風でとても寒い一日となりました。しかし、子どもたちにとっては笑顔いっぱい、思い出に残る楽しい旅行になったようです。

(6年担任 服部 直樹)

ています。皆様に支えられているという自信を持っています。

他の幼稚園と交流しても、人数の多さに圧倒されることなく一緒に楽しく活動しています。心豊かな里の子どもたちに恵まれた幼稚園です。

農業塾だより

農業塾販売体験

さる11月1日、フルーツパークにおいて、農業塾のほぼ最終の行事として販売実習を行いました。

今年には気候の影響で、キャベツ、ブロッコリーの生育が遅く、里芋、さつまいも、大根の販売となりま

今年の出会いの場

いもほりもちつき

した。当日は午後から土砂降りとなりりましたが完売となりました。今年、将の収入となりました。今年、将来農業をビジネスとしたい、また大沢町内で農地を借りたいといった塾生がでてきています。今後も彼等を応援していきたいと思っています。(藤本喜郎)

大沢の里山が紅葉に染まり始めた11月8日(日)、神付ふるさと村で今年2回目の「出会いの場」

が開催されました。秋晴れの好天の中、町内外より男女34名の参加を頂きました。

参加者の自己紹介の後の「いもほり」では大きな芋や虫の出現に大歓声が上がっていました。昼食は、参加者が握った地元産新米のおにぎりと豚汁を堪能しました。

その後の餅つきでは初めての杵での餅つきに挑戦し、つきたてのもちの味を楽しみました。又、残ったもちであんこを包みお土産にしました。

最後に投票によって9組のカップルが誕生し、メール交換が行われました。(上西 壽)

消防団だより

消えるまで

ゆっくり火の元 ならめっこ

この標語は平成21年の全国統一防火標語ですが、住宅火災の原因の多くが、たばこ・コンロ・電気機器等の取扱いの不注意によるものです。特に目立っているのが、「天ぷら油火災」です。「ちよつとだけ」と思ってコンロから離れ、火を付けているのを忘れ、気付いた時には鍋から火が上がっていた、というケースが後を絶たないようです。防災福祉コミュニティの訓練等でも消火の実演を行っていますように、万一の場合は落ち着いて行動すれば大事にいたることはありません。町民のみなさんが、防火意識を高めていただき、町中こぞって「火を出さない、出させない」住みよい町を築いていきましょう。いよいよ寒い冬が到来しますが、空気も乾燥し、火を使ふ機会も増えてきますので、しっかりと火の管理をしてください。また、住宅火災警報器の設置が、義務付けられています(平成23年5月31日まで設置)ので、未設置のご家庭は早めに設置してください。

また、大阪で9月に古い消火器の破裂事故があったことは記憶に新しいと思いますが、ご家庭に設置されている消火器を常に点検して安全な使用を心がけましょう。

「あっぱれ!第六分団」

去る11月8日、神戸市民防災総合センターにおいて、第9回神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会が行われました。出場チーム23チームが百分の1秒を競い合うさまざまな競技でしたが、大沢支団からは第六分団が出場し、練習の成果を発揮し、第5番目の成績で見事入賞を果たしました。(拍手)

大沢中学校

合同音楽会を終えて

今年の音楽会は、大変印象に残るものになりました。それは、指揮者として迎える音楽会だったからです。最初は、指揮者をする気は全然ありませんでした。僕もみんなと一緒に歌いたかったし、人前に立つのが苦手だからです。

でも、指揮者はなかなか体験できないと考えやってみることにしました。僕が一人抜けると、男性パートが弱くなってしまつので、

指揮をしながら歌うことにしました。また、強弱をつけるところで指揮を工夫したり、客席の方を振り返って手拍子をしてもらうサブライズも考えて実行しました。僕たち三年生にとって大沢校での最後の音楽会となりましたが、合唱は思い残すことがないぐらいの出来になったと思います。

三年 荻野 友峻

しあわせせくらぶ

伝えていきます わらわら

11月20日、大沢小学校の児童とふれあいわらわら細工を行いました。当日は、南五葉ふれあいのまちづくり協議会も参加され、多勢でわいわいがやがやと和やかで楽しい雰囲気の中で、1・2年生は、なわなない、3・4年生は、なべしき、5・6年生は、おかざりに挑戦し苦勞の末に出来上つた時は皆やったと言っ喜びの表情でしたので、伝統的な手作りの良さが伝わったと思います。その後学年毎に給食をいただきながら交流を深め、玄関で来年の再会を約して別れました。

短い時間でしたが共に過ごした子供達が日一日と成長を重ね、将

来は大沢のみならず日本や国際社会の一員として活躍し、幸せ多い人生を歩んでくれる事を願ってやみません。

(大沢しあわせくらぶ 辻井寿延)

おもしろ市場

新米試食会

一番美味しい上大沢のお米は...

11月1日、晴れのち雨。ご愛顧

に感謝しながら菊展示会と新米試食会を開催しました。地元農家とれたてのコシヒカリ・キヌヒカリ・ヒノヒカリをご婦人有志で炊飯し、銘柄を隠して試食して頂きました。感想はコシがあつて美味しい、モチモチして食感がよい、甘みがある、粒ぞろいでふっくらしている、炊き方が上手等、様々なご意見を頂きました。又、付きだしの地元手作りの芋の蔓煮等も人氣が上々。午後は雨でしたが看板を持ちお客様の呼び込み努力をし、昨年並みの盛況でした。試食アンケート結果の第1位は、ヒノヒカリでコシヒカリとキヌヒカリが続きました。年末27日には地域最大規模の餅つき大会を開催しますので皆さんもご参加下さい。

(榎本茂木)

おばあちゃんのおすすめ

小豆とさつま芋の煮菜

《材料》

小豆 1 / 2 カップ (80 g)

さつま芋 30 g

調味料 みりん大さじ 1 / 2

砂糖大さじ 3

醤油大さじ 1 / 2

塩小さじ 1 / 2

《つくり方》

小豆は水洗いしてたつぷりの水を加えて煮る。煮立ったらゆで汁を捨てあらたに水を加えて柔らかくなるまで弱火で煮る。

さつま芋は皮をむいて、2 cm 幅の半月切りにする。さつと茹でる。ザルにこした後、小豆の鍋に加えて煮る。

煮立ったら、みりん、醤油、砂糖を加えて鍋蓋をして味がしみるまで弱火で煮含ませる。

火を止めてから仕上げに塩をパラパラとふりかけてまぜる。

昔は小豆を多くし甘く煮た物を法事の一品としてつくりました。

(大谷きくゑ)

サークル紹介

さくらんぼミセス

“さくらんぼミセスって何？”と思われ方もあると思います。が、JA女性会フレッシユミセス部が廃止され、今年度より名前を変更して活動しているサークルです。

会員は15名とかなり減少しましたが、茶話会等をして、細々とですが活動しております。10月には手芸教室を開き、町民芸術祭に編み物や手作りの籠を出品しました。

皆、小さな子供を持つお母さんばかりで、なかなか自分の時間を持つことも難しいのですが、集まった時だけは子育てを少し忘れて楽しくおしゃべりしています。これから子育ての息抜きをかねて、無理のない程度に活動をしていきたいと思っています。地域の方々にも温かく見守っていただければありがたいです。

(小前孝子)

俳句

投句

爽やかや氣づかう心さりけなく	澄子
海沿いの枇杷の実熟れて小豆島	正子
落蟬の風に転がし軽やかな	たみえ
古代人かくかと手割で西瓜喰う	弘枝
蝉今日も仰のけに落ち鳴きしかな	神代子
燃え尽きるカンナ夕日に吸い込まれ	ちか
数珠くりの朝の御堂は涼しかり	三恵子
白波の浜辺によせる夏の果	福昭
敗戦の日モールの音響きなし	しろう
敗戦忌のうぜんかつらはびこりぬ	昭

スポーツ情報

10 / 27 JAふれあいゴルフ大会

優勝 西山千秋さん(中大沢)

準優勝 山中博司さん(日西原)

3 位 小西元八さん(上大沢)

おめでた

辻井理恵さん(神付)

さんと

おくやみ

11 / 辻井 さん(上大沢)

行事経過

10 / 26 パソコン教室

11 / 1 やまびこ会定例会

11 / 3 光山だより編集委員会

11 / 11 婦人市政懇北区総括集会

11 / 12 婦人会定例役員会

11 / 14 ふれあいオンステージ

「美川憲一ショー」

11 / 15 ふれあい昼食会

11 / 17 まちづくり部会定例会

11 / 24 資源集団回収